

平成30年1月～3月期平均及び平成29年平均（遡及改定後） 労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）の概要（広島県）の公表について

平成30年5月29日
統計課

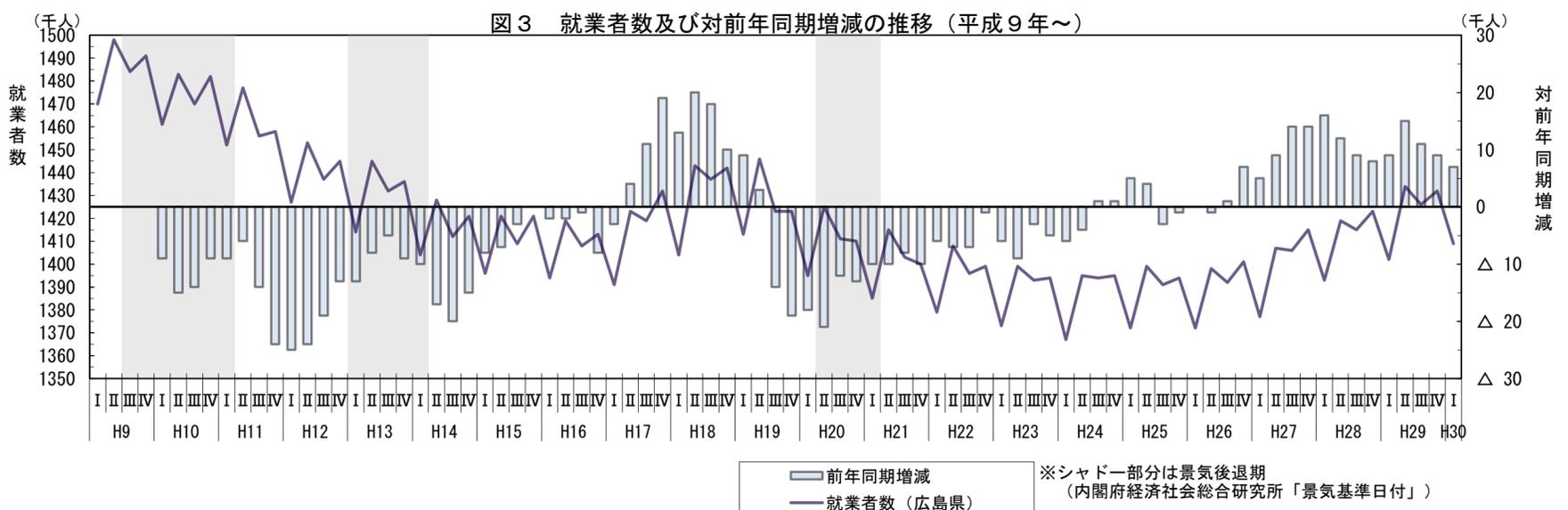
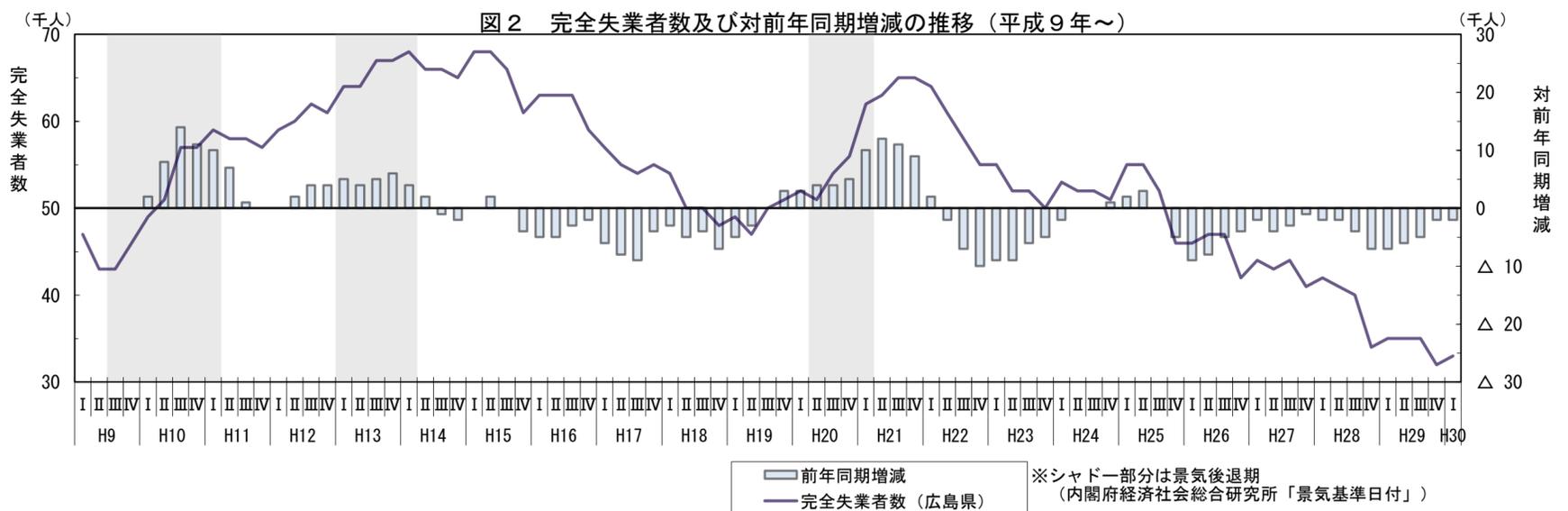
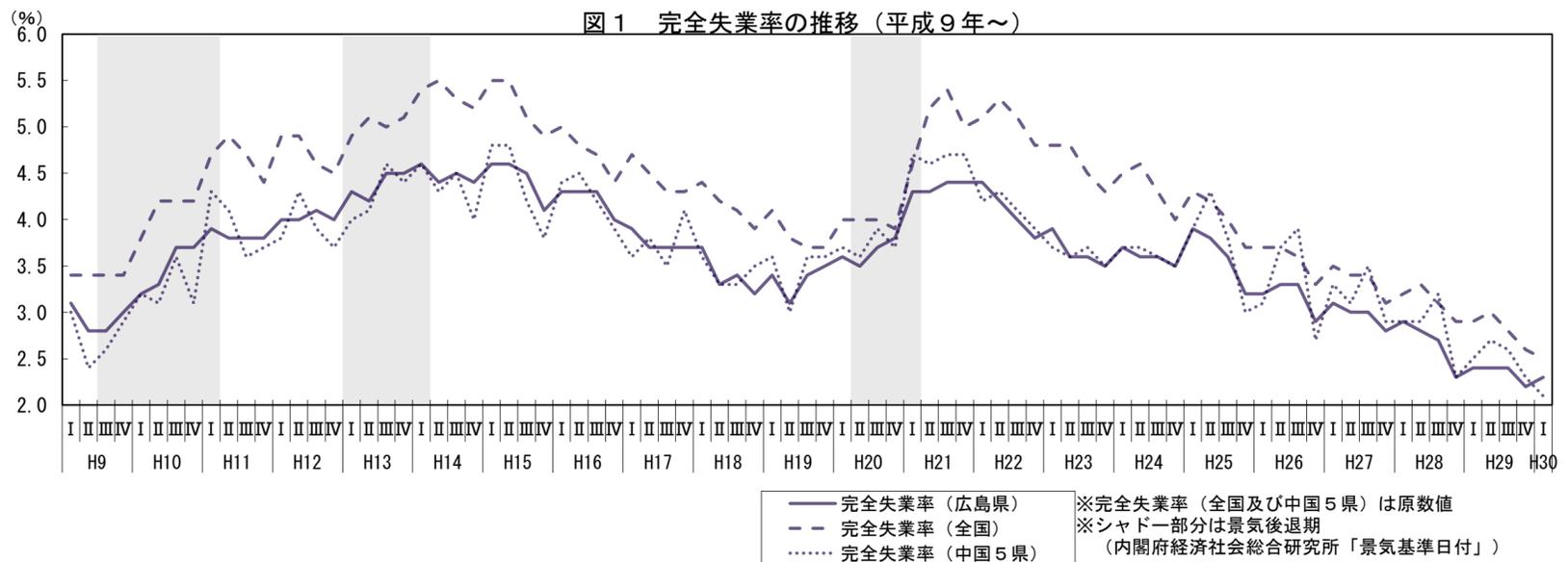
※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別結果（モデル推計値）を公表しています。
この概要は、平成30年5月29日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。

[完全失業者・完全失業率]

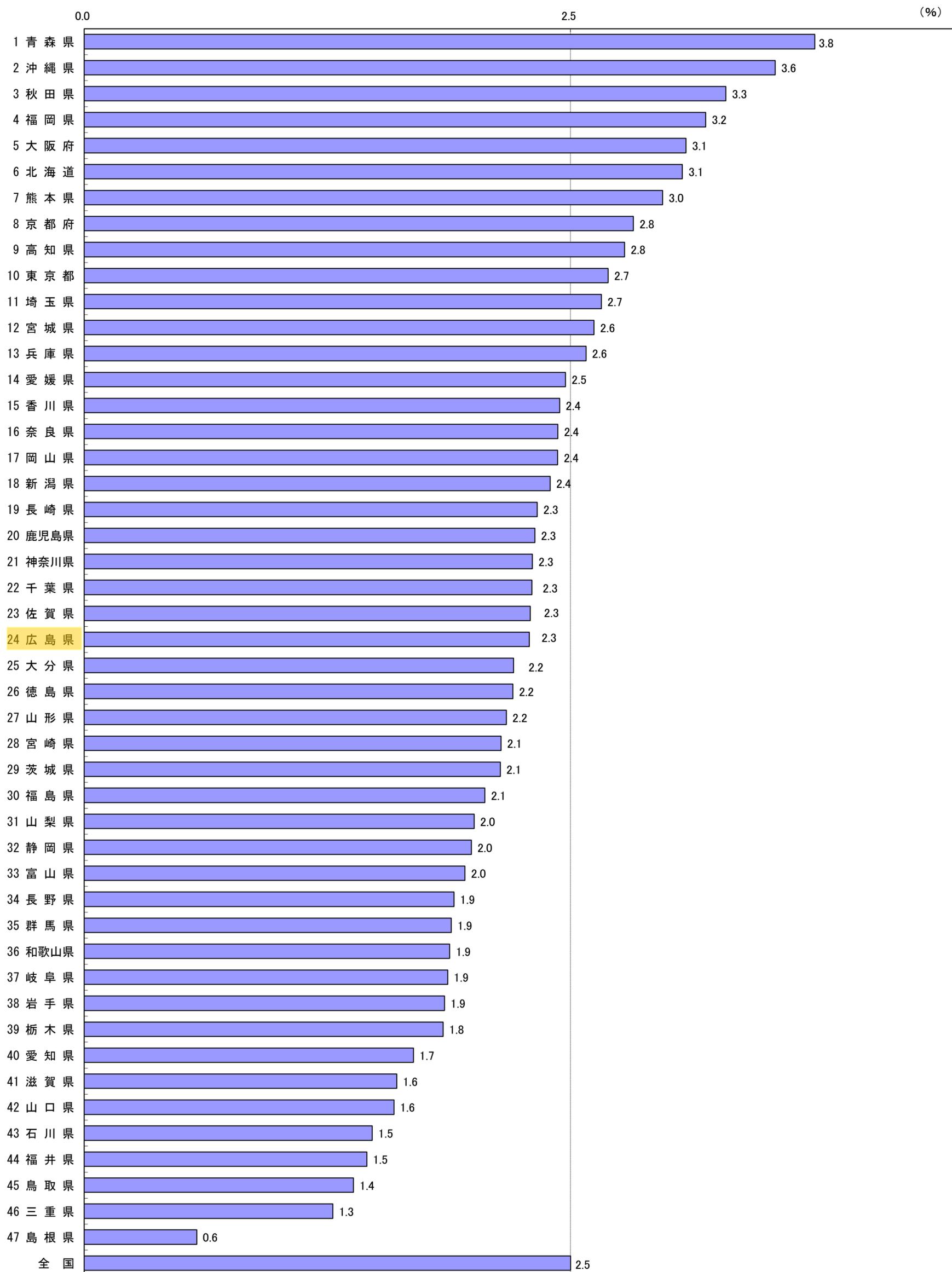
- ・ 広島県の平成30年1月～3月期平均の完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は2.3%と前年同期（2.4%）に比べ0.1ポイントの低下（図1参照）。都道府県別では中間の24番目。
また、平成29年平均（遡及改定後）の完全失業率は2.3%と、前年（2.7%）に比べ0.4ポイントの低下。
- ・ 広島県の平成30年1月～3月期平均の完全失業者数は3万3千人と、前年同期（3万5千人）に比べ2千人（5.7%）の減少（図2参照）。
また、平成29年平均（遡及改定後）の完全失業者数は3万4千人と、前年（3万9千人）に比べ5千人（12.8%）の減少。

[就業者]

- ・ 広島県の平成30年1月～3月期平均の就業者数は140万9千人と、前年同期（140万2千人）に比べ7千人（0.5%）の増加（図3参照）。
また、平成29年平均（遡及改定後）の就業者数は142万4千人と、前年（141万3千人）に比べ1万1千人（0.8%）の増加。



労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）による完全失業率（平成30年1月～3月期平均）



※ 都道府県名前の前の数字は、完全失業率の高い方からの順位を表示している。（小数点第2位以下の数値も算出して順位を付けた。）